

JA全農 WEEKLY

2面

全農酪農経営体験発表会 最優秀賞に山崎敏氏(岩手)

12面

「みのりカフェエキエ広島店」JR広島駅にオープン



JR広島駅にオープンした「みのりカフェエキエ広島店」(12面)



全農の相談役に就任した元トヨタ自動車株式会社取締役副社長の清水哲太氏(5面)



全農酪農経営体験発表会で最優秀賞に輝いた山崎敏さん(2面)

- 2 カーリング W 杯で女子日本代表に食材提供(広報部)
- 3 10周年記念「京急あきたフェア」開催中(秋田県本部)
来年2月17日に土壤医検定試験(肥料農薬部)
- 4 「しんたまご」を使ったレシピ動画を毎日公開(JA全農たまご株)
生活関係担当者がエコープマーク品で研修(生活リテール部)
- 5 特集:全農相談役に清水哲太氏しみずのりたか(総務部)
- 6 “全農ブランド”からもち麦ごはん・青汁新発売(生活リテール部)
- 7 畜産事業の研究最前線②
飼料畜産中央研究所 品質管理研究室(畜産生産部)
- 8 県本部だより(青森県本部)
- 9 特集:国際ジャーナリスト・堤未果さん特別寄稿(広報部)
- 10 平成30年10~12月期の配合飼料供給価格、前期比で平均トン当たり約800円値下げ(畜産生産部)
- 11 青果情勢(園芸部)
- 12 JAタウンショップ紹介(株)全農ライフサポート山形

Web版JA全農ウィークリーはこちら



www.zennoh-weekly.jp/



「第36回全農酪農経営体験発表会」を開催

最優秀賞は岩手県の山崎敏氏、特別賞に富山県の青沼光氏

酪農部



全農の桑田義文常務(左)から表彰状を受け
る山崎さん(右)と奥さまの幸子さん

全農酪農部は9月7日、東京・大手町の日経ホールで「第36回全農酪農経営体験発表会」を開催しました。この発表会は、全国から選ばれた優秀な酪農経営者の方に、その経営内容や技術を自らの体験を踏まえて発表していただくもので、最優秀賞に選ばれた作品は「第58回農林水産祭」の参加作品となります。

この日発表したのは、北海道の中澤好喜さん、岩手県の山崎敏さん、埼玉県の株式会社ブルーバンブーファーム・青木大輔さん、長野県の栗田岳志さん、富山県の青沼光さん、大分県の田畑修一さんの6人です。それぞれ熱い思いを込めた発表の中で、「目標を『見える化』する事で、良質な粗飼料を確保し、乳量・乳質ともに良好。30頭規模で、ゆとり

のある労働環境と高い所得水準を上げている」との高い評価で、岩手県の山崎敏さんが最優秀賞の栄冠に輝きました。さらに「酪農地帯ではない中(富山県)で、あえて新規参入し、今まさに立派な経営を達成しようとしている」と、富山県の青沼光さんには特別賞が贈られました。

また併催の「第12回全農学生『酪農の夢』コンクール」では、全国の学生から寄せられた「酪農の夢」をテーマにした作文・論文を募集。この日、最優秀賞に選ばれた川村咲貴さん(大阪府立農芸高校資源動物科3年)が作品を発表し、会場に集まった多くの酪農関係者から、期待と祝福の拍手が送られました。

カーリングW杯で女子日本代表に食材提供

世界での活躍を食で応援

広報部



食材を受け取ったLS北見の藤澤五月選手(左から2人目)、鈴木夕湖選手、吉田夕梨花選手、吉田知那美選手と日本カーリング協会の横井昭理事(左)、全農の落合成年広報部長(右)

全農は、9月12〜16日に中国・蘇州で行われた「カーリングワールドカップ2018」に合わせ、女子日本代表(LS北見)に食材を提供しました。

全農は、LS北見が女子日本代表として中国蘇州大会に出場するのに合わせ、現地で食材の贈呈式を行いました。提供した食材は、国産にこだわった、お米や果実、ジュースなどです。現地でお米を炊いて食べてもらえるよう、炊飯器も併せて提供しました。

供しました。鈴木夕湖選手は「食べなれた日本のご飯を現地で食べることで、高パフォーマンスの源になっていきます」と語ってくれました。

試合は、世界の強豪に3勝3敗と善戦しましたが、惜しくも予選敗退となりました。

LS北見のオフィシャルブログには、お礼のメッセージが投稿されています。





10周年記念「京急あきたフェア」開催中!!

京急グループとのタイアップで秋田米をPR

秋田県本部

10周年を記念して発売する新商品。左から米菓「淡雪ふわり」、日本酒「京秋の恵」、秋田県産あきたこまち「あきたeocoらいす」無洗米



この取り組みは、京急グループ社員自らが、環境にやさしいお米「あきたeocoらいす」の田植えから稲刈りを行い、京急グループの百貨店やスーパーなどで販売する企画を中心に展開しており、ほかにも首都圏在住の女性

「京急あきたフェア」は秋田県の協力で、京浜急行電鉄株(本社：東京都)と秋田県本部の共同企画として平成21年から開催しており、今年で10周年を迎えます。10周年を記念し10月1日から11月11日まで、京急グループの各店舗や施設にてフェアを開催しています。

を対象とする「あきたのお米と食・日本酒を楽しむ日本酒女子会」など、さまざまなイベントを行ってきました。今年、10周年を迎えるにあたり、オリジナルの日本酒づくりにも挑戦したほか、無洗米やオリジナルパッケージの米菓もラインナップに加わります。また、豪華景品が当たるキャンペーンも実施し、節目の年を盛り上げます。

「京急あきたフェア2018」についてはこちらをご覧ください

京急あきたフェア 2018



来年2月17日に土壌医検定試験実施

JA職員の皆さん 土づくりの資格にチャレンジを!

肥料農業部

圃場(ほしょう)の様子が分かる土壌断面



全農は一般財団法人日本土壌協会が主催している「土壌医検定」を後援しており、「土壌医検定」を積極的に活用することによりJAグループの農家対応力強化を期待しています。今回の試験は来年2月17日(日)に全国各地で開催され、JAグループ関係の施設

一般財団法人日本土壌協会が主催し、全農が後援する「土壌医検定」の試験が来年2月17日、全国各地で行われます。全農では、土壌診断に基づく適正施肥を推進しています。その具体化のためには、土壌分析結果を農家組合員に分かりやすく的確に伝え、自らの営農を見直すことから始まります。そのため、全農では施肥診断養成講習会などを実施し、JA職員の育成に積極的に努めています。

一般財団法人日本土壌協会が主催し、全農が後援する「土壌医検定」の試験が来年2月17日、全国各地で行われます。

土壌医検定試験の概要

1. 試験日：平成31年2月17日(日)
2. 申込期間：平成30年11月1日(木)～12月14日(金)
3. 申込方法：インターネットまたは郵送
4. 試験会場：札幌、仙台、東京、福井、名古屋、大阪、岡山、福岡ほか全国12カ所
5. 受験料：1級 10,000円、2級 6,000円、3級 5,000円(税込み)
6. ホームページ：<http://doiken.or.jp/>

設では静岡県農業会館で開催されます。また、受験準備のための各種講習会が併せて設定されています。レベルも1級から3級まで幅広い知識レベルに対応していますので、まずは3級から目指してみませんか。JA職員の皆さんの積極的なチャレンジを期待しています!

一般財団法人日本土壌協会のホームページはこちら



News!

「しんたまご」を使ったレシピ動画を毎日公開

たまごソムリエの友加里さんが「3分たまごクッキング」

JA全農たまご(株)

たまご業界のアイドルで、たまごソムリエ[※]の友加里^{ゆかり}さんが、YouTubeで9月15日から1カ月間毎日、JA全農たまご(株)のブランド卵「しんたまご」を使用し、卵料理のレシピ動画を公開しています。



「しんたまご」を使ったレシピ動画を公開する友加里さん

友加里さんは卵料理に詳しく、テレビ番組でのアイデアレシピ紹介などで人気を集めています。その友加里さんが、「3分たまごクッキング」と題して、9月15日からYouTubeで卵料理レシピを1カ月間毎日公開するのに合わせて、JA全農たまご(株)は「しんたまご」を提供しています。

「しんたまご」は、生で食べ

ても、料理をしてもおいしい卵です。黄身の色は濃く、加熱しても鮮やかな黄色が際立ちます。健康維持をサポートする注目のオメガ3や、妊娠初期や授乳期のママにうれしい葉酸も強化されています。また、飼料に国産玄米を使用し、食料自給率の向上にも取り組んでいます。

コレステロールについて、厚生労働省は「日本人の食事摂取基準(2015年版)」で、食事で摂取するコレステロールの影響は少ないため、制限を設けないことが示されており。

友加里さんのレシピ動画をご覧いただき、たくさんのお料理をお楽しみください。

※たまごソムリエ：日本卵業協会が実施し、卵に関する知識を問う「タマリエ検定」に合格すると取得できる資格

「3分たまごクッキング」はこちらから



News!

生活関係担当者がエコープマーク品で研修

簡易テストや商品紹介を実演

生活リテール部

生活リテール部は9月13、14の両日、神奈川県平塚市の営農・技術センターで平成30年度の本所、県本部、経済連、協同会社の生活関係の担当者を対象とした「エコープマーク品」の研修会を開きました。

生活リテール部は、参加

者が実際に調理や試食をし、商品特徴や開発意図を学べる貴重な機会と位置付けて、毎年、研修会を開催しています。エコープマーク品の担当者として配属された新人を主体とした13人が、代表的な商品のコンセプトや開発・管理の手法、簡易テスト、官能検査の方法と

意義などを学びました。

特に好評な研修項目は、簡易テストや商品紹介の実演です。グループに分かれた参加者が互いに発表し合い、最後に生活リテール部商品管理室職員が評価とポイント解説をすることで、参加者の自己表現力向上と推進への自信獲得が成果としてあらわれることを期待しています。



商品の簡易テストをする参加者



生活リテール部の職員から説明を聞く参加者

全農相談役に清水哲太氏が就任

トヨタグループでの豊富な経験・知識を生かし支援・助言

全農は、8月1日付で元トヨタ自動車株式会社取締役副社長の清水哲太（しみず・のりたか）氏を相談役として招聘し、9月より具体的に協力いただいています。

【総務部】

清水氏は30年余をトヨタの購買部門に身を置き、自動車メーカー世界ナンバー1の達成に参画しました。また、その後移られたトヨタホーム(株)でも恒常的赤字体質の抜本的改革を行い、販売戸数の拡大、黒字体質を確立しました。

全農も自己改革を進める中、購買事業における調達や、昨年営業開発部を立ち上げるなど力を入れていた販売力強化など幅広い分野で、清水氏の経験・知識を生かし支援・助言いただくため、相談役として招聘しました。相談役就任は8月1日付で、9月から具体的に協力いただいています。



清水 哲太
しみず のりたか

清水哲太氏の略歴

生年月日：1937年10月15日（80歳）

- 1961年 — トヨタ自動車工業株式会社（現トヨタ自動車株式会社）入社
- 1990年 — 同社取締役
- 1996年 — 同社常務取締役
- 1998年 — 同社専務取締役
- 1999年 — 同社取締役副社長
- 2003年 — トヨタホーム株式会社代表取締役会長
- 2006～2014年 — 株式会社セブン&アイ・ホールディングス社外取締役

清水相談役インタビュー

全農の相談役に就任した清水氏に、全農のイメージや今後、相談役としてやっていきたいことなどについて伺いました。

Q 今まで抱いていた全農のイメージを教えてください。

A 今までは分野が違っていたので、ほとんど知りませんでした。から見ると、かなり保守的な組織じゃないかなと、そういうイメージでした。

Q 実際にヒヤリングなど行って感じたことはイメージと合致していましたか。

A いろいろ新しいことをトライしようとしているというスタンスを感じました。これなら、一緒になって手助けができるのではと思います。

Q 今後、全農の相談役として、こういうところだったらアド

バイスできるなと感じているところがあれば教えてください。

A 一つは、私の経歴として調達をやってきましたので、仕入れをどうやって合理化できるかという点ではお役に立てるかもしれないと思います。

Q 全農の調達とトヨタの調達の共通点や似ているところはありますか。逆に、全農の調達はこういうところを考えるとないなというところはありますか。

A まだそこまでは分かりませんが、何かお役に立てるかかもしれないと思います。皆さんと相談しながら、何を



困っているか、何をどういう方向に持っていくかとしていいのか、そういうことを教えてもらいながら、それだったらこういう話ができるか、そういう話ができるばいんじゃないかと思えます。



“全農ブランド”から もち麦ごはん・青汁が新発売!

国産原料にこだわり、皆さまの健康を応援します [生活リテール部]



今話題の雑穀ごはんが 新登場

全農は9月17日から、「国産もち麦ごはん」(150g)と「国産もち麦ごはん 3食入り」(150g×3)を発売しました。

各種メディアで取り上げられ、話題のもち麦ごはんですが、もち麦には水溶性食物繊維が多く含まれています。水溶性食物繊維は食後の血糖値の上昇を抑える効果やコレステロールの吸収を抑える効果があると言われています。また不溶性の食物繊維もバランスよく摂取できます。「国産もち麦ごはん」は、お米だけではなく、もち麦も国産100%で、全農ブランドとしてのこだわりを追求しています。豊かな風味とプチプチとした食感をお楽しみください。



国産もち麦ごはん



国産もち麦ごはん 3食入り

商品概要

「国産もち麦ごはん」

内容量 150g
参考価格 178円 (税抜)

「国産もち麦ごはん 3食入り」

内容量 150g×3
参考価格 498円 (税抜)

原材料名 うるち米(国産)、大麦(もち麦)(国産)

発売時期 9月17日(月)から

販売展開 全国のスーパー、ドラッグストア、Aコープなどでの販売を予定しています。(一部取り扱いのない店舗もございます)



国産原料にこだわった 青汁2品が新登場

全農は9月17日から、「青汁習慣(乳酸菌入り)」(3g×20包)と「九州産有機野菜青汁」(3g×15包)を発売しました。

「青汁習慣(乳酸菌入り)」は、九州産の大麦若葉を使用しており、従来の青汁原料のケールなどに比べて飲みやすくなりました。また乳酸菌を1包あたり300億個配合することで腸内環境をより活性化させることが期待されます。

「九州産有機野菜青汁」は、原料産地(大麦若葉=大分、明日葉=鹿児島、桑葉=鹿児島)を指定し、有機JAS認定原料を使用しています。

いずれの商品も全て国産原料を使用しており、全農ブランドとしてのこだわりを追求しています。



青汁習慣(乳酸菌入り)



九州産有機野菜青汁

商品概要

「青汁習慣(乳酸菌入り)」

内容量 3g×20包
原材料名 大麦若葉(九州産)、デキストリン、乳酸菌
参考価格 598円 (税抜)

「九州産有機野菜青汁」

内容量 3g×15包
原材料名 有機大麦若葉(大分産)、デキストリン、有機明日葉(鹿児島産)、有機桑葉(鹿児島産)
参考価格 598円 (税抜)

発売時期 9月17日(月)から

販売展開 全国のスーパー、ドラッグストア、Aコープなどでの販売を予定しています。(一部取り扱いのない店舗もございます)



全農ブランドはこちらから



<https://www.zennoh.or.jp/zennoh-brand/brand/>

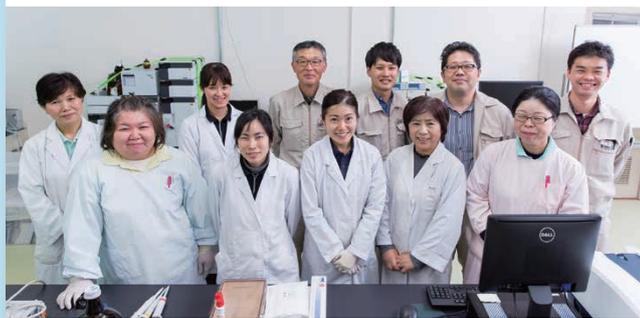


畜産事業の研究最前線 2

畜産事業の研究を紹介する当シリーズ第2回は、飼料畜産中央研究所 品質管理研究室です。

全国のみあい配合飼料工場はそれぞれの品質管理システムにより、生産者に安心して使っていただけの製品をお届けしていますが、配合飼料の安定した品質を確保するための分析技術が必要とします。品質管理研究室はそのサポートを担っています。

配合飼料にはトウモロコシや大麦、大豆粕などさまざまな原料が使われています。ただし同じトウモロコシであっても、産地や収穫された時期が異なれば、そこに含まれる成分も微妙に異なります。



品質管理研究室の研究者・スタッフ

飼料畜産中央研究所 品質管理研究室

飼料の品質を分析から支える

ば、そこに含まれる成分も微妙に異なります。そこで大切になるのが、原料が海外などから輸送されてきた際に、一定量のサンプルを採り、分析で成分を確認する事です。この分析で大切な役割を果たしているのが、飼料畜産中央研究所 品質管理研究室です。

原料中の成分を分析し配合飼料の設計に利用

サンプルの原料が送られてくると、研究室ではさまざまな装置を使って、原料の中にアミノ酸

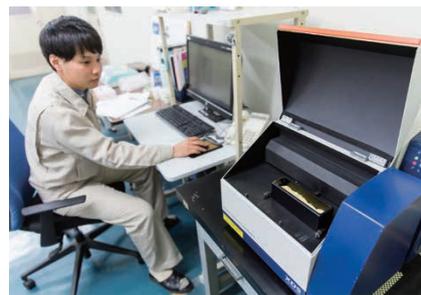
や脂肪酸、ビタミン、あるいはもつと微量な成分がどれだけ含まれているかを分析していきます。分析結果は、全農が原料を購入する際や飼料設計のためのバックアップデータとして使用されます。

原料の成分分析だけでなく、同研究所の他研究室が試験に使用する飼料について設計通り



脂肪抽出装置。サンプル中の脂肪分の量を測定するために抽出する装置

の成分が含まれた飼料になっているかどうかの分析も行い、他研究室をサポートする役割も担っています。



原料や飼料に含まれるタンパク質などの量を近赤外線(NIR)によって測定する

最新の分析機器を活用しより信頼できる分析値を算出

くみあい配合飼料工場では、生産者の皆さまに毎日安心して使える飼料を提供する事に力を注いでおり、そのために品質管理に日夜取り組んでいます。そしてそれをサポートするために、品質管理研究室が成分に関する基礎情報や分析技術情報などバックデータとなる部分の提供を行っています。研究室には、さまざまな分析

機器が導入されています。最新の機器を有効に活用すれば、分析にかかる時間の効率化も可能です。分析結果にはどうしてもばらつきが生じるものですが、効率化された分、分析回数を増やす事が可能になり、ばらつきのある数値の中からより信頼性のある数値を算出する事もできるようになります。

ただし分析機器は非常に敏感で、室温が変わると異なる分析値が出てくるものもあります。適切な環境を設定し、正しい手順で分析を行う事が大切になります。どのような条件で分析を行うか検証するのも大切な役割です。

安定した品質の配合飼料の生産と供給を実現するための、縁の下の力持ちとして、品質管理研究室では常に分析技術の向上に努めています。

【畜産生産部】

次回は、飼料畜産中央研究所 養豚研究室を紹介する予定です。(12月頃掲載予定)

県本部 だより

青森県本部

やさしい日のフェスとコラボ 全農提供ラジオで公開生放送 青森県産の魅力 全国に発信

青森県本部は9月1日、県産やさしいの認知度向上と地産地消を目的とした体験型イベント

「JA全農COUNTDOWN」

JAPAN」の公開生放送を行いました。

「やさしいフェスは今年で3年目。集客アップや内容の充実を目的にラジオ番組とのコラボを実現させ、県産食材の魅力を全国に発信しました。

番組放送後には「嶽さみ」注文増

約300人の来場客が集



来場客と一緒に盛り上がるパーソナリティーのジョージ・ウィリアムズさん④と安田レイさん④



「嶽さみ」を試食するウィリアムズさん④と安田さん

まった会場では、パーソナリティーのジョージ・ウィリアムズさん、安田レイさんが青森県産のトウモロコシ「嶽さみ」を試食し、「口の中でぷちぷちはじけておいしい」「この甘さにびっくりしますよ」とコメント。番組放送後、「嶽さみ」の注文が増えました。また、県産食材がお得に楽しめるクーポン付きグルメガイドブック「東京イタリアンパス」については、「写真も鮮やかできれい。おながすがすいてきますね」と話しました。

生放送開始前には、番組パネルで写真撮影し、SNSへ投稿した方へ「プレミアムにんにくパウダー」をプレゼント。番組中CMでは、12日に実施した楽天冠試合について告知しました。さらに同番組ホームページやSNSでは、公開生放送の様子やプレゼント商品の紹介など全国へ向け情報発信をしました。

やさしいフェスでは、やさしい輪投げやミニトマトすくいを実施。料理家の栗原心平さんは、手軽に調理できる「ながいもの梅からし和え」など4品の

オリジナルレシピを紹介。作り方やポイントなどトークを交えながら披露しました。



好評だったやさしい輪投げ

「あぐりずむWEEKEND」で生産者の声も全国へ発信

同日は農業応援番組「あぐりずむWEEKEND」が放送され、JAゆづき青森の酒井一由組合長がJAの事業概要を説明、ニンニク生産者の荒木元晴さんが植え付けから収穫までの作業ややりがい、おいしい食べ方などをインタビュー内で紹介しました。今後の目標について「地域のベテラン農家のように良いものを作り、良い農業経営ができるよう日々頑張っていきたい」と話しました。

特別寄稿

(転載)

アメリカ発の農業 ビジネス世界戦略

「食糧は、世界を動かす権力だ」
1995年に筆者が参加した
北京女性会議の席で、バティニ
国連世界食糧計画事務局長(元
米農務次官補)はこう言った。
この発言こそが、今日日本を含む
多くの国に仕掛けられている、
米政府の世界戦略と国際バイオ
戦争の狙いを鮮明に表している。
この内容とそれができた経緯に
ついて、今ほど日本人が関心を向
けるべき時はないだろう。「農協改
革」を旗印に、日本国内の農業に
対し現在進められている数々の法
改正は、全てここが原点だからだ。

「農業」から 「アグリビジネス」へ

1970年代後半のアメリカ
では、世界食糧危機で大もうけ
した、穀物メジャー6社の意向
を受け、米政府が食糧を、「自国
民を食べさせる」ためのものか
ら「外交上の武器」という位置

農業ビジネスという世界戦争

国際ジャーナリスト 堤未果

農業で他国を 侵略する

自国の次は国外の市場がター
ゲットだ。まずは農地を企業が買
えるよう法律を緩め、取得した農
地を集約して大規模農業を展開
する。共販制度を解体し、倒産し
た地元農民が離農した後に、米資
本のグローバル企業が参入し、大
量の輸出作物を作付けするの
だ。この手法で、米政府はインド、

アグリビジネスに淘汰され、農
民たちは、大企業のマニユアル
農業をする「雇われ契約社員」
になってゆく。バイオ最大手の
モンサント社は、1年しか発芽
せず、自社の農薬だけに耐性を
持つ「遺伝子組み換え種子」を
開発、それは同社に莫大な利益
をもたらすと同時に、「食」を通
して他国を攻撃するという、新
しい世界戦争の幕を開けたの
だった。

アグリビジネスの ための新国際ルール

イラク、豪、中南米、ブラジルなど、
多くの国々の農業を手に入れて
いった(この辺りの詳細は拙著
『株)貧困大国アメリカ』に記載)。
やがて彼らは、一気に市場を
広げる「自由貿易体制」を望む
ようになり、1995年にWT
Oを設立する。世界で初めて「植
物に特許を与える法」が誕生し、
その後バイオ企業
寄りの国際ルール
が次々に作られて
ゆく。2017年
4月に日本の国会
でスピード可決し

た「種子法廃止」や、都道府県
の種子開発データを民間企業に
提供させる「農業競争力強化支
援法」は、どちらも1991年
に改正された企業の特許のため
に農家の自家採種を禁ずる「U
POV条約」とつながっている。
ちなみに2019年発効のTP
P11で、全参加国にUPOV条
約への批准義務化を主導したの
が他でもない日本政府である事
は、ほとんど知られていない。

このように、過去数十年の歴
史をひもとくと、今起こってい
る事が、単なる農協改革や農業
効率化云々でない事が分かるだ
ろう。世界中の伝統農業と共同
体、地方の経済基盤を破壊し、
食の安全と多様性を犠牲にする
「アグリビジネス」と、そこでの
主導権をめぐる壮絶な戦争に、
わが国は巻き込まれているのだ。
日本各地の農業と、協同組合を
死守しなければならない理由は
ここにある。守るべきものを見
誤らず、切り売りされた貴い財
産を、一つ一つ取り戻さなけれ
ばならない。

【要約】

本稿は雑誌『表現者 クライテリオン』(啓文社書房)の連載「農
は国の本なり」の第2回記事(2018年9月号)を、著者・出版社
の承諾を得て要約掲載させていただいたものです。

『表現者 クライテリオン』の購読はこちら

オフィシャルホームページ ● <https://the-criterion.jp/>

問い合わせ先: 啓文社書房
Tel ● 03(6709)8872 e-mail ● info@kei-bunsha.co.jp



つつみ・みか 国際ジャーナリスト。
国連、証券会社を経て現職。米国の
政治、経済、医療、教育、食、農政な
ど取材。『ルポ貧困大国アメリカ』
(岩波新書)で新書大賞・エッセイ
トクラブ賞。新刊に『日本が売られる』
(幻冬舎新書)。



平成30年10～12月期の配合飼料供給価格について

前期比で全国全畜種総平均トン当たり約800円値下げ

【畜産生産部】

平成30年10～12月期の配合飼料供給価格については、飼料情勢・外国為替情勢などを踏まえ、平成30年7～9月期に対し、全国全畜種総平均トン当たり約800円値下げすることを決定しました。
*なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

飼料穀物

トウモロコシのシカゴ定期は、6月には390^{ドル}／^ト前後で推移していましたが、その後は受粉に適した天候が続いたことや、8月10日発表の米国農務省需給見通しで、史上最高の単収見通しとなったことなどから下落し、現在は360^{ドル}／^ト前後で推移しています。

大豆粕

今後は、新穀の豊作が期待されるものの、南米産の生産量減少により米国産の輸出需要の増加が予想されることなどから、相場は現行水準で推移するものと見込まれます。
大豆粕のシカゴ定期は、6月には380^{ドル}／^ト前後で

海上運賃

国内大豆粕価格は、シカゴ定期の下落により、値下がりが見込まれます。
米国ガルフ・日本間のパナマックス型海上運賃は、5月には45^{ドル}／^ト前後で推移していましたが、その後は中国向けの石炭輸送需要が増加したことや、原油相場が堅調に推移していることから上昇し、現在は50^{ドル}／^ト前後で推移

外国為替

今後は、中国向けの石炭の荷動きが引き続き好調であること、北米産新穀輸出が本格化することから、海上運賃は堅調に推移するものと見込まれます。
外国為替は、6月中旬には110円前後で推移していましたが、米国における追加利上げ観測が高まったことなどから、現在は111円前後となっています。
◆ ◆ ◆
今後は、米国の利上げ動向および経済政策などを材料に、一進一退の相場展開が見込まれます。

◆ ◆ ◆
以上から、外国為替は円安にあるものの、トウモロコシのシカゴ定期や大豆粕価格が

値下がりしていることなどから、平成30年10～12月期の配合飼料価格は前期に比べ値下げとなります。



[青 果 情 勢]

(園芸部)



野 菜

主力産地は関東以西中心へ

概況

10月は、果菜・葉茎菜類を中心に、関東などの平野部からの出荷が増加してきます。

キャベツは、群馬などの高冷地に加え、千葉や茨城からの出荷も本格化してきます。千葉・茨城は夏季の干ばつからやや生育遅れとなっていますが、出荷量は前年並みの見込みです。

ハクサイは、長野に加え、後続の茨城などからの出荷も開始されます。台風の影響も少なく、良好な作柄となっています。出荷量は、前年並みを見込みます。

ダイコンは、北海道・青森などが中心の出荷となります。下旬からは関東産地からの出荷も本格化してきます。生育は遅れているものの品質良好で、出荷量は前年を上回る見込みです。

ニンジン、北海道などが中心の出荷となります。肥大期の干ばつによる肥大不足などにより、豊作となった前年を下回る見込みです。

レタスは、長野・群馬・岩手などの夏秋産地から、後続の茨城へと切り替わっていきます。長野・茨城ともに生育がやや遅れているため、出荷量は前年よりもやや少なくなる見込みです。

トマトは、東北産地から、関東や西南暖地へと切り替わります。東北・関東は8～9月の天候不順の影響で、作柄は前年をやや下回っています。西南暖地は順調な生育となっています。

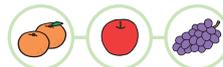
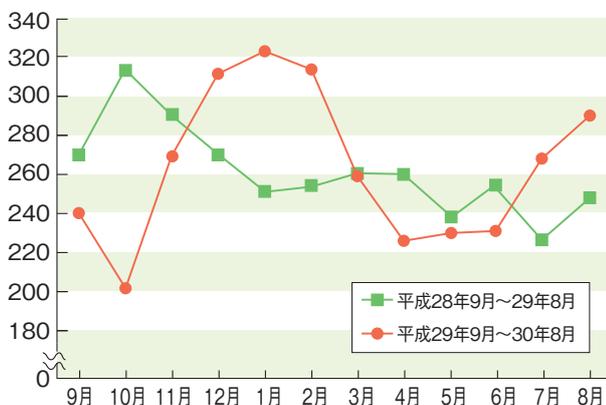
キュウリは、東北産地が減少し、関東産地が中心となります。東北産は出荷終盤から減少となりますが、関東産は作柄良く、前年並みの出荷を見込みます。

パレイショ・タマネギは、北海道が中心の出荷となります。産地によりばらつきはありますが、生育は夏季の干ばつなどの影響により小玉傾向となっています。出荷量は前年を下回る見込みです。

店頭

食欲の秋・行楽の秋を迎え、店頭の販促企画にもぎやかになります。天ぷら・サラダ料理に加え、「鍋」や汁物、シチューなどのメニューに関連したコーナーが展開されます。

円/㎏ 東京都中央卸売市場 国産野菜価格



果 実

秋の味覚が勢ぞろい

概況

10月は、ミカン・リンゴ・ブドウ・柿・栗など、代表的な果実が出回る時期となります。

ミカン類は、熊本・長崎・愛媛などを中心に、極早生種の出荷が本格化します。やや小玉傾向ですが、内容も良く、出荷量はおおむね前年並みとなる見込みです。

梨は、栃木を中心に「新高」や「にっこり」、長野の「南水」などの品種が中心となります。前倒し出荷となっていることから切り上がりも早く、10月の出荷量は前年を下回る見込みです。

リンゴは、青森・長野などが中心の出荷となります。「つがる」が9月末でほぼ終了し、「早生ふじ」や「秋映」、「シナノスイート」、「秋陽」などの中生種の出荷が本格化してきます。生育は前年よりやや早く、食味も充実しており、バラエティーに富んだ品種を楽しむ時期となります。出荷量は前年をやや下回る見込みです。

柿は、和歌山・奈良・福岡などが中心の出荷となります。「刀根早生」に加えて、「平核無」の出荷も始まってきます。肥大はやや小玉傾向で、出荷量は前年をやや下回る見込みです。

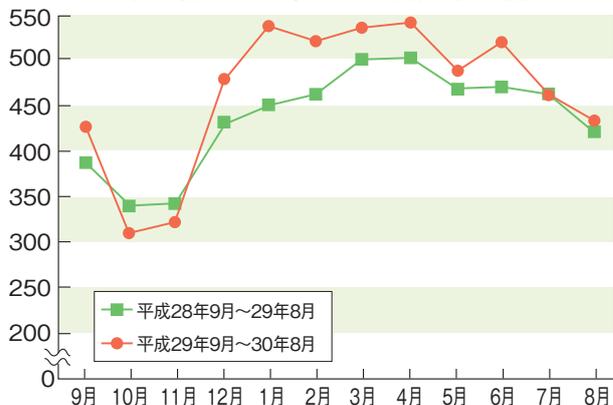
ブドウは、長野・岡山・山梨が中心の出荷となります。生育前進傾向でやや小房傾向であることから、10月の出荷量は前年をやや下回る見込みです。

栗は、茨城が中心の出荷となります。出荷量は少なかった前年を上回る見込みです。

店頭

秋本番となり、収穫フェアや県産フェアなどの企画が多くなります。果実売り場にリンゴ・ブドウ・ミカン・柿などが所狭しと並べられ、一年で最も活気づく月です。果実をもっと食べていただく良い機会です。

円/㎏ 東京都中央卸売市場 国産果実価格



主産県
だより

9月はレタス、梨、ピーマン、リンゴ、パレイショ、タマネギの主産県が一堂に会し、作況見通しや販売対策の共有化、消費拡大の進め方について協議しました。今後も主産県による情報交換会などを定期的に開催し、出荷情報や販売情報の共有を図ります。



「みのりカフェ エキエ広島店」JR広島駅にオープン 看板メニューは中国・四国地方の旬の果物や牛乳の「ミルクパフェ」

【フードマーケット事業部】

オープンから多くのお客さまでにぎわう
「みのりカフェ エキエ広島店」



全農「みのりみのるプロジェクト」は9月6日、広島市のJR広島駅商業施設「ekie(エキエ)」2階に「みのりカフェエキエ広島店」をオープンしました。みのりみのるプロジェクトは、平成22年に東京・銀座に「みのりカフェ」「みのる食堂」を開業し、100%国産食材を使用した収益性の高い外食事業モデルを確立することで輸入食材に依存する外食産業のあり方に一石を投げると同時に、これまで8年間で350万人以上のお客さまに国産農畜産物の「安全」「安心」「美味しさ」をお伝えしてきました。今回の開業は、今年3月にオープンした「みのる食堂 エキエ広島店」に続く出店です。

みのりカフェの看板メニューは、中国・四国地方の旬の果物や地域産の新鮮な牛乳を使用した「ミルクパフェ」で、9月は、三次ピオーネと広島産のシャインマスカット、尾道産のイチジクなどの旬の果物を使用し、「ひろしまね牛乳」を使ったソフトクリームを合わせました。また、「みのりみのるセレクト」として、中国・四国地方のJAや生産者が、「地元素材」を丁寧に加工した、ここでしか買えない逸品も販売します。



ミルクパフェと
季節の
フルーツジュース



季節の
果物
ミックス
パフェ

秋のツイッターキャンペーン
「たまごで味わう、
絶品お肉まつり」
JA全農たまご倶

- JA全農たまご倶では、10月1日～11月15日の間、公式ツイッターアカウントをフォローし、指定のハッシュタグを付けてツイートした方の中から、抽選で総勢100名様に、松坂牛やロースポークなどがたまごセットで当たるキャンペーンを実施しています。
- ふるってご応募ください!

JA全農たまご倶
公式ツイッター
アカウントはこちら



キャンペーンの
詳細はこちら



JAタウン ショップ紹介

JAタウン | 検索 クリック

（株）全農ライフサポート山形



新米 平成30年産 雪若丸 5kg
3400円



米どころ山形から、ついに待望の新品種が誕生しました！
その名も「雪若丸」！炊き上がりは、雪のように白く輝き、
しっかりとした粒感と適度な粘りはまさに新食感です！

「雪若丸」の名称は、しっかりとした粒感や稲姿が男性的
であり、際立つ白さとつやのある外観が雪のように白いこと、
白さとつやの特徴が「つや姫」と似ており、「つや姫」の次に
誕生した品種であることから命名されました。

「つや姫」の弟分として、力強く、りりしく、たくさんの笑顔と
しあわせを食卓にお届けします♪

なお、ご紹介した商品は、10/19(金)まで、FAXでもご注文を承ります(ご自宅宛金引換のみ)。
【ご注文方法】①商品名、規格、数量②郵便番号③住所④氏名⑤電話番号⑥FAX番号をご記入の
うえ、FAX番号03-5218-2517までご送信ください。
商品代金のほか、お届け先により送料が必要となります。

JA全農のインターネット ショッピングモール ▶ご注文は <http://www.ja-town.com>
▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報、商品等の発送にのみ使用します。